

緑法人会の会員の皆様こんにちは。今回は株式会社ナガネの会社案内をさせていただきます。

(株)ナガネは、昭和52年設立で、昭和61年に緑区いぶき野に移転してまいりました。下水道管や電力・通信ケーブルの地中線の敷設等の推進工事や老朽化した下水道管をリニューアルする管渠更生工事・戸建建物の沈下防止の柱状地盤改良工事を行っている土木工事業社で、一般的に言う専門工事会社です。

弊社では、一昨年²⁰²²の年末から環境保全を目指し、ISO14001の取得と新規部門として環境システム事業部を設立いたしました。ISO14001は昨年²⁰²²の12月に何とか取得することが出来ました。

環境システム事業部では、将来の地球環境を考え、少しでも地域のお役に立てるように活動を行っています。環境システム事業部は、環境保全に即した商品の販売とメンテナンスを行っており、取扱商品として、消滅型生ごみ処理機「マジックバイオくん」、包装食材ゴミ分別機「エコビューター」、水蒸気式紙おむつ炭化装置「マジックダイパー」などがあります。

「マジックバイオくん」は、食べ残しや、調理くずなどの生ゴミをバイオの力を利用して水蒸気と炭酸ガスに分解し消滅させる食品リサイクル法に適した装置です。

生ゴミを投入口から投入するだけで嫌な臭いを抑えながら消滅させます。残念ながら、消滅するといっても全てが100%消滅するわけではなく、多少は残渣^{ざんさ}が



マジックバイオくん

株式会社ナガネ

残ります。しかし残った残渣^{ざんさ}は「手作り堆肥」として再利用が可能です。

「エコビューター」はスーパーやコンビニ等で排出される食品系ゴミ（代表的なものとして、賞味期限切れのお弁当など）をそのまま投入すれば、瞬時に包装材ゴミと食材ゴミに分別するものです。



エコビューター

ゴミの分別は年々厳しくなっていますが、分別するのに手作業では時間と労力がかかります。「エコビューター」は投入するだけで、ビニール等の包装材と食材をその場で別々の排出口から排出します。

「マジックダイパー」は、病院や老人ホーム等で排出される使用済み紙おむつを水蒸気を利用して、短時間で安全・確実に減量し炭化処理する装置です。

不衛生な廃棄物は焼却すれば簡単に処理できますが、大気中では焼却温度を800℃以上に維持して焼却しなければダイオキシンなど放出にもつながり、安易には行うことが出来ません。そこで「マジックダイパー」で



マジックダイパー